

# 岩手大にエコアクション21 東北国立大初 環境保全推進へ



エコアクション21の認証登録証・ロゴマークを手にする岩手大の学生と関係者

岩手大(岩淵明学長)は、環境省が策定した日本独自「EM(S)」のエコアクション

ョン21(EA21)認証を取得した。東北の国立大学法人では初。環境意識の高い人材育成や環境保全・再生の研究を推進し、同大独自のEMS確立を目指す。

盛岡市上田の同大で23日、認証登録証授与式を行い、岩淵学長が「環境に配慮した組織にし、教育にも生かしていく」とあいさつ。東京都の持続性推進機構「エコアクション21」中央事務局の森下研事務局長が「東北の大学の模範となり、復興、発展の先導役になるよう期待したい」と述べた。

期間は昨年12月25日から2年間。同4月からEA21を適用したEMSを始め、エネルギー使用の削減や人材育成、環境学習の充実などを実施。18年には同大付属幼稚園や小中学校、特別支援学校、19年には釜石キャンパスや滝沢農場などに範囲を拡大する。現在、EA21を取得済みの大学は同大を含め4大学。県内では95事業所が取得している。